



Sensei's
"Otori-yose"

先生の おとりよせ

Asumiko Nakamura
Yuuri Eda
中村明日美子 × 榎田ユウリ

Sensei's "Otori-yose"

先生の おとりよせ



漫画
挿絵

中村明日美子

小説

榎田ユウリ

contents



order.1

初対面は和菓子

琥珀 柚子 [永楽屋]
れんこん菓子 西湖 [紫野和久傳]
(pixivコミック「クロフネZERO」 2013年1月配信)

4

order.5

細く長くのご縁で麺

盛岡温めんカルビスープ2食 (特製スープ付)
盛岡温めんユッケジャン2食 (特製スープ付)
[味の麺匠 戸田久]
(pixivコミック「クロフネZERO」 2013年8月配信)

68

order.2

再会の洋菓子

バームクーヘン [CLUB HARIE]
キャロットチョコフラン [パティスリー ポタジエ]
(pixivコミック「クロフネZERO」 2013年1月配信)

20

order.4

発酵するは我にあり

一夜干し (生干し) くさや [ヤマサ水産 長田商店]
とうふ味噌漬 信州味噌・江戸たまご [銀座若菜]
低温熟成伊予のみそ [ギノーみそ]
(pixivコミック「クロフネZERO」 2013年6月配信)

50

order.3

巻き返しの プレミアムジュース

プレミアムトマトジュース ブラックラベル
[株式会社 ジャパンフードファクトリー]
(pixivコミック「クロフネZERO」 2013年4月配信)

36



榎田ユウリ
あとがき
(書き下ろし)

171

中村明日美子
あとがき
(描き下ろし)

170

last order

鍋の向こうに 奴がいる

八戸名物せんべい汁セット [大浦食品]
タムラシードル [タムラファーム]

(書き下ろし)

148

お取り寄せ
informationの
情報は2014年6月
現在のものです。

order.9

RGB000 そして伝説へ...

ご黒うさん [和菓子 菜の花]
宇部ダイヤ「黒」 [パティスリーケンジ]

(描き下ろし)

132



order.6

サイン会と YO! YO! MEN!

養々麺 [雲仙きのこ本舗]

(pixivコミック「クロフネZERO」 2013年10月配信)

82



order.7

ハッピーミルク ウェディング

カップソフトクリーム8個セット
[シックス・プロデュース]

(pixivコミック「クロフネZERO」 2013年12月配信)

100



order.8

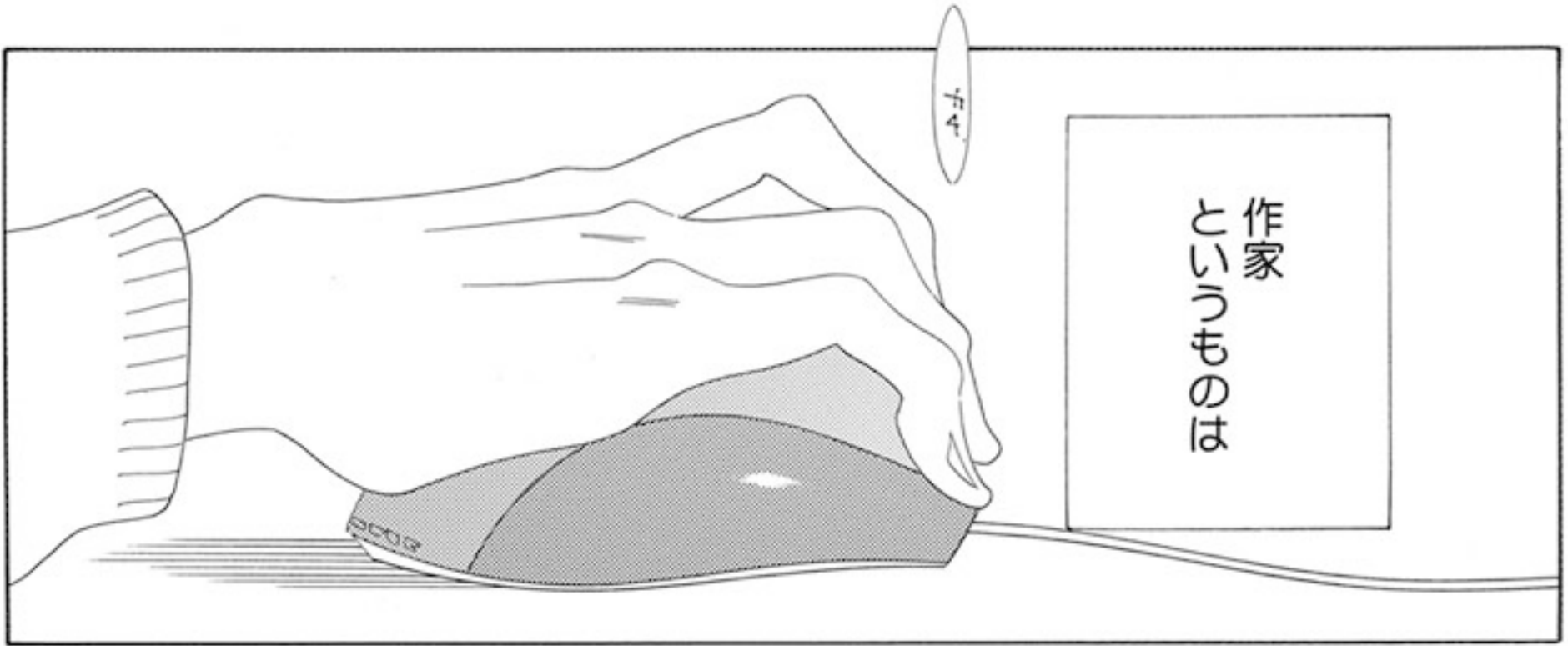
焼きまんじゅうの ハローグッバイ

焼きまんじゅう [原嶋屋総本家]

(pixivコミック「クロフネZERO」 2014年2月配信)

114





Sensei's "Otori-yose"

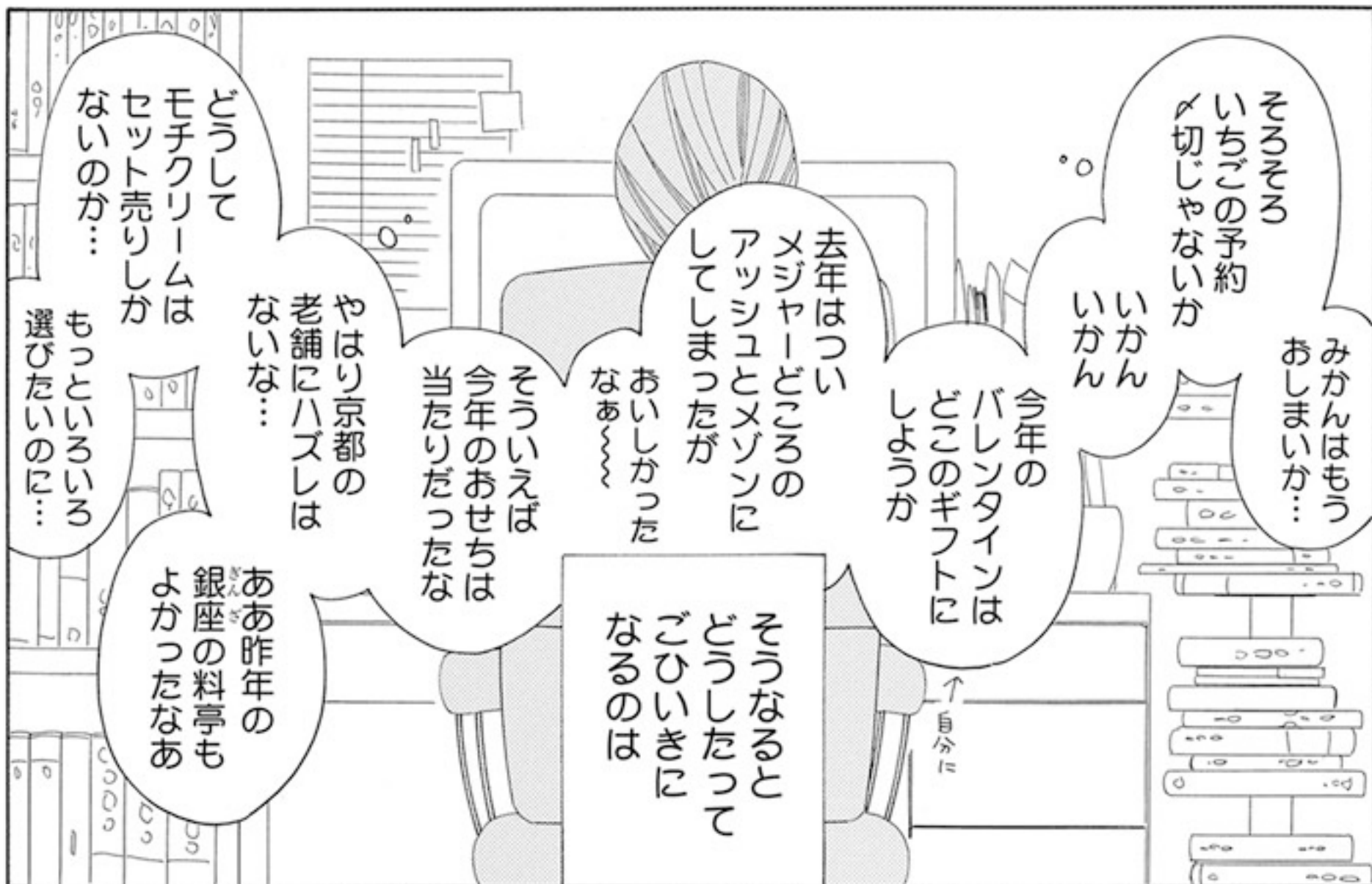
先生の おとりよせ

order.1

初対面は和菓子

とかく
家を出ない
生き物である

お



みかんはもう
おしまいか…

そろそろ
いちごの予約
め切じゃないか

いかに
いかに

今年の
バレンタインは
どこのギフトに
しようか

去年はつい
メジャーどころの
アッシュとメゾンに
してしまったが

おいしかった
なあ〜

そういえば
今年のおせちは
当たりだったな

やはり京都の
老舗にハズしは
ないな…

どうして
モチクリームは
セット売りしか
ないのか…

もっといろいろ
選びたいのに…

ああ今年の
銀座の料亭も
よかったなあ

そうになると
どうしたって
ごひいきに
なるのは

↑自分に

注文 ← 支払い ← 受取

全てをお家で
完結できる
パーフェクトな
お買い物

そう

おとりよせ

である

この物語はそんな
おとりよせライフを
生活の主軸とする
2人の作家の
フィクションである

え

では
こちら

官能小説家として
『悦楽の断崖』
『小指の爪』など

数々のベストセラーを
発表されております
えのむらはるか

榎村遥華先生



では
こちら

美少女漫画家
として定評があり

うちの漫画誌
『ぱふいっ娘』の
看板作家で
いらっしやいます

なかた
中田みるく先生



よろしくお願
い
しま—

おっさん
じゃねえか!!

今、読みたい



—話は
数ヶ月前に
遡る

漫画原作?



あなたと

リフレッシュ出版

そうなんです

今度弊社から
創刊される

新感覚

アンビバレンツ

コミックマガジン

『クロフネ・ターボ』の

看板作品を

企画しております

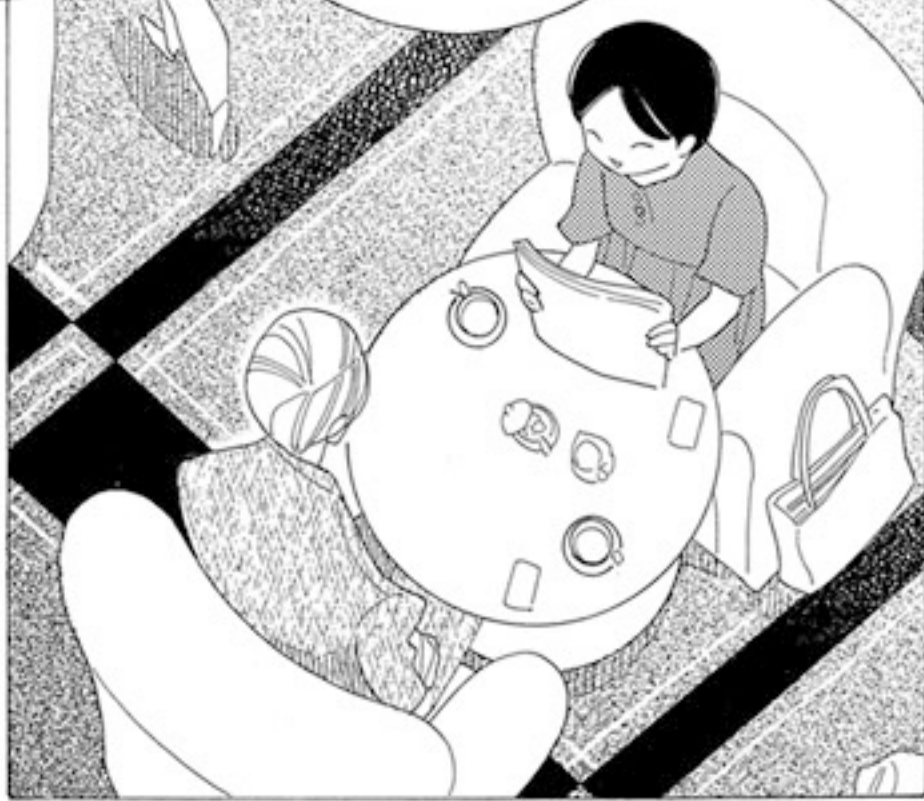
そこで
ですね

榎村先生はとても
ビジュアルイメージの
強い作風をお持ち
なので

是非

漫画原作を
やって頂けたら
なあと…

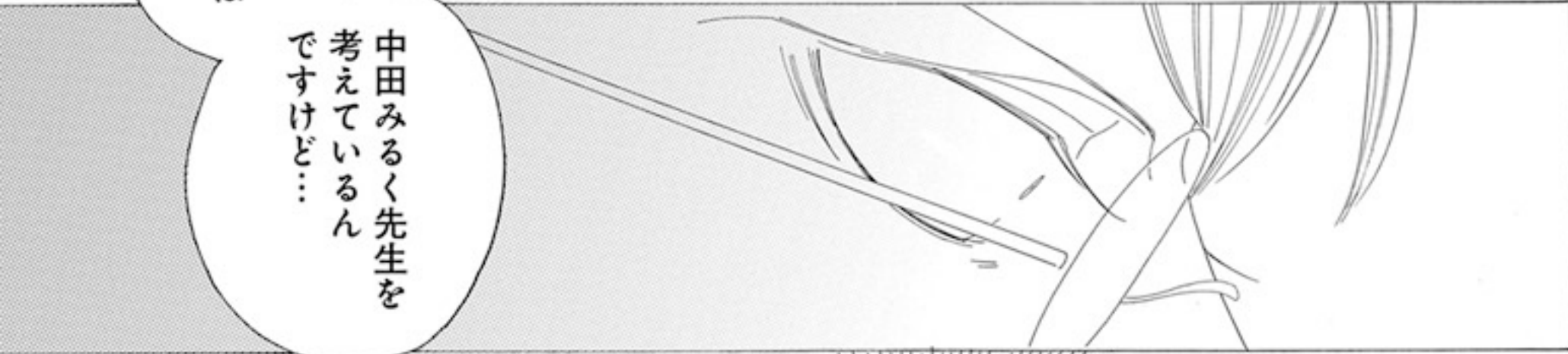
ご興味…
ありません？



漫画
ですか…

一応作画の
候補としては

中田みるく先生を
考えているん
ですけど…



中田みるく…!!



それは…



編集さんはいつも
大荷物

乳星人を自負する
自分にとってはまさに

理想的な
乳を描く
乳の伝導士

乳のカリスマ
中田みるく…!!

俺の…

俺の神に…

会える
のか…!!

はじめまして♡

中田みるく
です♡

著者近影

中田みるく
最近のハマリモノは
お取り寄せスイーツ
アロマ♡

やだ…
私の本…

お持ち
頂いてる
なんて…

うれしい…

サイン
だなんて
そんば…

パイタク
で…

おっ

おっ



ナナ

みるく先生に何か

素敵な貢ぎ物を...

あ... そっか

Subject: 新視X-C-3
Cc/Bcc:
件名: 権村様
権村様
今日はどうもお疲れ様でした。
漫画原作の件ですが、
昨朝お引き受けさせて頂きたくも思いますが、
初めてですので、とこそ楽
一度顔合わせの機
を作らせて頂



おっさん
だなんて
ヒドイ!!



で

おっさん

おっさん...



いやいやまじでまじで
ちよっと待ってちよっと待って

そうですよー
妙齢と言って
下さー!

泣かな
泣かな
泣かな

アロー?

ナナ

おネエさん
ですか？

いえ

キレイな
お兄さんです

いや
100おっさん
だから

イヤイヤイヤイヤ
本当に

アレでしょう
マジでアレでしょう

話が違う
っうか

キツネ的な
狐狗狸の類に
つままれた
っうか

ありえない
でしょ

てかもう



ガサ



100サギヤしや
こんな可愛いな
巨乳女子の書道写真
描いてこい!!

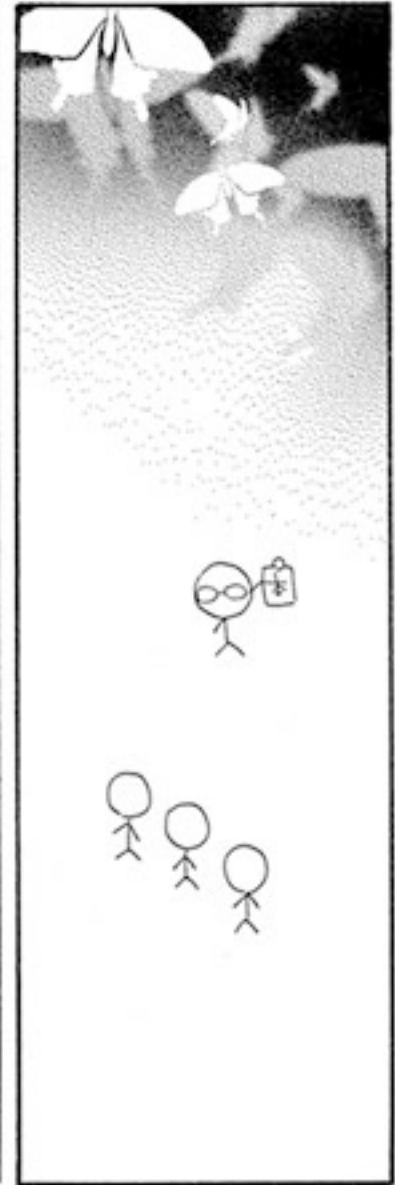
萌え系っついたらアレな
野郎が描いてるのが
相場なトコロに「輪の
エーデルワイスかと
思いきや

ブルータスお前もか
的なミゲのおっさんが
出てきて(しかもフェミニン)
何が何だか俺の聲と
希望とエーエエエが

その中田先生の
ご著書

櫻村先生の
私物ですか？





ワタシも
榎村先生の
大ファンで!!

サスンは願ひます (母木様)



そもそも
このコラボの
言い出しっぺも
ワタシなん
ですけど!!

いやーん
お会いできて
ウレシイー♡

あの破滅的で
耽美的な世界に
身も心も溺れたい
てゆーか

特にヒロインの
女王様的なキャラが
俺ツボで!!



なんだあ

じゃあ
両想いだったん
ですなー

よかったー

イヤそれは
語弊がある

こんなフェミニンな
むくつけきおっさん
断固拒否

ワタシだってこんな
歯にドレッシングできない
おっぱい星人お断り



ごめサインは
ほこりようだ...

なにおう

この
フラグ
クラッシャー

俺のみるくを
返せ!!

馬鹿野郎
官能だ!!

言い方
エロイ!!

下ネタ
よー

まあ
まあ...

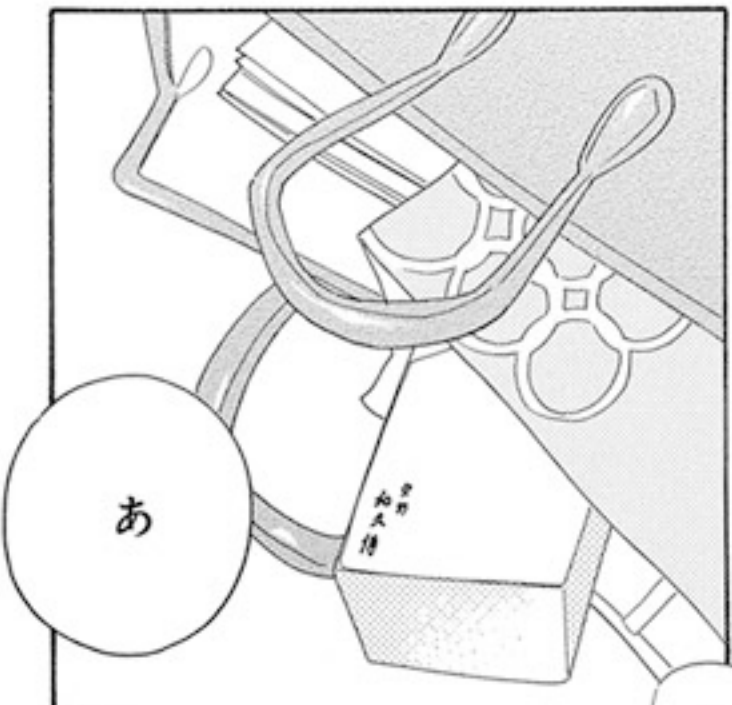
困ったは...



櫻村先生
おカバンが...

?
何か出て
きましたけど

あ



その...

中田みるく先生に
初めてお会いする...
から

その

おとりよせを
して...

さ
差し入れ
を...

ミニブル
メガネ甘明へ...

あ...こ

これは



じ

実は



Sensei's "Otori-yose"

先生の おとりよせ

order.2

再会の洋菓子

め。

め、と言う。

美味であることを『め』と言う。

より感情がこもると『めじゃ!』になる。榎村の出身である青森のお国言葉だ。

大学入学と同時に上京し、かれこれ二十年近い。すっかり方言も鳴りを潜めたかと思いきや、この『めじゃ!』はいまだに口から飛び出しがちな一言である。榎村は旨いものが好きだ。

肉も魚もスイーツも好きだ。だが食通ではない。そんな大層なものとは違う。榎村は基本出不精で、旬の味を求めて遠方まで旅するのは面倒だし、評判のレストランに三ヶ月先の予約を入れるのもかったるい。

手に入れやすい範囲で、旨いものをよしとする。

近所で売っているのがよい。自宅に届けてくれればもっとよい。パソコンで注文できたりすると、さらによい。かくして、

おとりよせ

である。

便利。超便利。なんてコンビニエンス。現代は小説家というひきこもりに近い職種にとって、夢のような時代だ。なんでもネットできりよせられる。先日、ふと思いついて某大型ネット市場で墓石を検索してみた。……とりよせられる。卒塔婆もOKだ。仏壇は言わずもがな。あとは**住職**が売っていれば完璧ではないか。さすがに見つからなかったが、読経CDならばある。まさしく時代はおとりよせなのだ。

とはいえ、世の中はそう安易ではない。旨そうな菓子だと思つてとりよせてはみたものの『はずれ』の場合だってある。送料をかけて『はずれ』をひいてしまったときは、大変悔しい。人生に負けたような気分になる。他人は大袈裟と笑うだろう。締切明けで朦朧とした中、それだけ心を抛り所としていた菓子が『はずれ』だったときの悲哀は、作家にしかわ

かるまい。

なぜこのパウンドケーキはパサパサなのか。なぜこのチョコプレートはザラザラなのか。なぜこの饅頭はぺっちゃんこなのか——絶望に打ちひしがれる。

もつとも、最近はその手の絶望に遭遇することもだいたい減った。おとりよせ界もしのぎを削る争いで全体的なレベルが上がったのか……あるいは榎村の**選定**眼が鍛えられたのか。後者の可能性は大きいだろう。榎村の眼鏡がキラーンと輝くとき、モニタの画像には美味なる食物が映し出されている。

絶望といえは。

最近、絶望に近いショックを味わった。たとえていうなら、プリンと違っていたら豆腐だった、みたいな。いや、もつとひどい。シフォンケーキかと思っていたら、台所のスポンジだった、みたいな。しかも魚焼いたあとのアミを洗ったスポンジだった、みたいな。

中田みるくが……オッサン
だった。

この絶望。

この衝撃。

この落胆。

いや、榎村だってオッサンだ。中田みるくより年上の立派なオッサンである。オッサンが悪いというわけではない。オッサンがオッサンなのは仕方ない。人は時の流れに逆らえない。しかし中田みるくがオッサンなのはだめだ。そんなのあんまりだ。初めてディ●ニーラ●ドを訪れた幼気な子供の前で、ミツ●ーマウスがカパッと頭を取り、中の人がヒゲのオッサンだったらどうする。子供は泣くだろう。世界の終わりのように泣くはずだ。榎村も泣きたかった。号泣したかった。 **滂沱の涙**で世界を沈めてしまいたかった。……ちよつと大袈裟になりすぎたが、まあ、とにかくショックだった。

そりゃあ、世の美少女マンガ家のほとんどは野郎である。そんなことは知っている。野郎でオタクでひきこもりだからこそ、二次元の美少女を創造しうるのだ。

自分についてないからおつ

ぱいを描くのだ。リアルを超越した素晴らしき乳を描けるのだ。そういう理屈はよくよく承知である。

が、中田みるくは特別だと思っていた。だって、あの著者近影はないだろう。

詐欺だろう。嘘つき野郎の舌を引っこ抜け……と憤った榎村だったが、自宅に戻ってからネットを見てみると、中田みるくが男性だということは、ファンをあいだでは周知の事実だったらしい。代表作のヒロイン（この場合『ふるふるはにい』の、**はでいタン**）を自画像がわりにすることは、さして珍しくはない。ただ榎村は、おとりよせと資料探し以外でネットを見ることがあまりないので、知らなかったのだ。あの自画像を真に受けてしまったのだ。担当の岩石——ガンちゃんは何んと言った？ **可愛い方なんですよ……**そんなふうに出ていた記憶がある。実に女性の言う『可愛い』は信用ならない。幅が広すぎる。 **彼女**

たちはベルツノガエルだつて可愛いと言うのだ。本当に油断がならない。

さらば、美乳。

ぼいんぼいん、ぶるるんと……消えてしまった儂き夢よ。

パイタクよ。

でも一応サインはもらっておいた。中田みるくは、オッサンでヒゲのくせに妙に女子力の高い気持ち悪い奴だったが、あの素晴らしい乳を描くマンガ家としての存在意義はある。その点は評価に値する。というかその点しか評価しない。

……いや。

もうひとつ、評価していい点があった。中田は旨い菓子を持ってきていたのだ。**おとりよせ**したと言う。琥珀、と言ったか。上品で、だが印象強い柚子風味の和菓子だった。榎村が用意した、紫野和久傳の西湖に匹敵する菓子だった。

オッサンでヒゲだが、味覚のセンスは満更捨てたもの

でもない。

「……空腹……」

榎村は呟く。

そんなことを考えていたら腹が減ってきたのだ。愛用の机の前から離れ、キッチンに向かった。締切が近いため、この二日ほど食生活が貧しい。ひとり暮らし歴二十年、簡単な料理ならできる。もとい、簡単な料理しかしない。締切前だとそれもしない。

「……空腹……なのだが……」

なにか甘いものが食べたい。

脳が糖分を欲している。榎村の脳

細胞は甘党だ。

しかし残念なことに、食品棚にめぼしいものはない。買い置きチョコレートはあるのだが、もつとこう、柔らかい食感や、優しい甘さがほしい。ダークチョコも好きだが、いまはホワイトチョコがいい。

コンビニまで行くべきか。しかし、窓の外は小雨だ。そして寒い。こんなときのコンビニはまるで永遠の彼方である。

こそ泥よろしく、自分のキッチンのあちこちを物色し、なにかないかと探す。冷蔵庫はどうだったかなと開けたとき、「おお」と口に出してしまった。

ジーザス。

神は我を見捨ててはいなかった……。

なにかと大袈裟な語彙が浮かぶのは小説家としての癖なので、気にしないではない。

あつたじゃないか。これがあつたじゃないか。いそいそと箱を出そうとすると、呼び鈴が鳴った。

とりあえず冷蔵庫の扉を閉め、インターホンに返答すると、顔なじみの宅配業者である。献本でも来たかと思いがら、マンションのエントランスの通行許可を出す。榎村の部屋は三階だ。数分して、今度は玄関の呼び鈴が鳴った。

「お世話さまでーす！ トラネコ便です！」

潑刺とした笑顔を見せるのは、宅配業者の鬼女島くんだ。

彼は榎村が物書きだということをする

に知っている。出版社からの荷物ばかりなので、隠しようもない。まだ若く、なぜか長髪で元気いっぱいの鬼女島くんは、名前だけがなにやら怖い。あまりに変わった苗字なので、すぐに覚えてしまった。いつか小説内で使わせてもらおうと考えている。

伝票にハンコを押しながら、ちらりと品名を確認した。出版社からの著者校正ゲラである。また仕事か……と内心で吐くが、すぐ気を取り直した。あれを食べべて**脳に栄養をチャージ**すればいい。昨日冷凍庫から冷蔵庫に移していたのを、すっかり忘れていた。そろそろひと仕事終わるのを見越して、自分へのご褒美を手配していたのだった。**グツ**

ジューブ、自分。 ええと、確かこれはポタジェの……。

「あつ、中田先生〜」
え？
鬼女島くんの言葉に、榎村は軽く目を見開いた。もちろん、榎村に向かって発せられたわけではない。鬼女島くんは、

廊下の先……隣の部屋の方角に首を伸ばしながら、そう言ったのだ。

「先生のところもあるんです。いま行きませから〜」

にこやかに言う鬼女島くんは、なにやら脱力した声が「ふあ〜」と返す。中田なんて珍しい姓ではない。ただの同姓だろうとは思いつつ、榎村はひよいと廊下へ顔を出してみた。

すると。
……いた。

いたのだ。裏切りのオッサンが。

巨乳美少女の生みの親のヒゲ面が。

なにやらズルツとした格好をして、くたびれたサンダルを履き、背中を丸めてゴミ袋を手にし、目の下に凄絶な隈くまを作った中田みるくが。

「き」
ほとんど半眼だった目が、榎村を認め
た途端にカッと見開かれた。

「おやあああああー！」

そして雄叫びおたけ。

榎村と鬼女島くんが猫だったら、全身の毛が逆立つような悲鳴だった。

「おやああああー！ いやああああー！」
脱兎だつとのごとく、いや、図体的ずうたいには脱熊だつクマ

のごとく、中田が自分の部屋に逃げ入っていく。直後、扉が乱暴に閉じられた。

キンキンする耳をほじりつつ、榎村は鬼女島くん「ど、どうしたんだ？」と聞いた。

「わ、わかりません。なにがあっただんでしよう……いつもはにこやかで穏やかな方で……たまにオネエ言葉だけど……」

それは知ってる。

本人曰く、**フェミニン男子**だそう

うだ。なんだそれ。

「あの男、ずっとここに住んでるのかい？」

「ええ、少なくとも僕がこのエリア担当になった頃にはもういらっしやいましたよ。マンガ家さんなんですよね。小説

家さんとマンガ家さんがお

隣同士だなんて、面白いなあと思っ
てました」